

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださいようお願いします。

1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できっていない	できっていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	みさか小	36.2	46.6	17.2	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 調べ学習や発表活動を増やし、子どもたちが主体的に学べるよう工夫しました。その結果、約8割の児童が「自分で学び方を工夫できている」と回答し、全国平均と同等の成果となりました。
- 今後は、自分がどんな方法で学んだのか、どんな工夫をしたのかをノートに書いて振り返る時間を設け、「どのように学んだか」を子ども自身が言葉で説明できるようにしていきます。ご家庭でも、疑問に思ったことを一緒に調べたり、「どうしてそう考えたの?」と理由を尋ねたりする声かけで、主体的に学ぶ姿勢を支えていただけたらと考えています。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	みさか小	6.9	13.8	36.2	25.9	15.5	1.7

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、「10分 × 学年 + 10分」を目安に家庭学習の習慣化を図り、宿題の工夫や生活ノートの活用を進めてきました。その結果、「1時間以上学習している」と回答した児童が約5割に達し、全国と同等の水準となりました。
- 今後は、学年に応じた適切な課題に加え、自分で考えたり振り返ったりする活動を通して、学習の“量”だけでなく“質”的向上を図っていきます。ご家庭でも、例えば「どうやって解いたの?」「他にもやり方あるかな?」などと問い合わせることで、思考力を育てる関わりをお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.2	48.2	17.1	3.3
6	みさか小	34.5	44.8	19.0	1.7

(単位 %)

【考 察】

- 学習日記等での振り返りや、ロイロノートを活用した整理活動を通して、「何が分かり、何が分からなかったのか」を意識する学習に力を入れてきました。その結果、「見直して次につなげている」と感じている児童が約8割にのぼり、全国平均を上回る結果となりました。
- 今後も、単元ごとに「できたこと・課題」を具体的に記録し、自分の学びを見直す力をさらに高めていきます。ご家庭でも、「今日はどんなことを勉強したの?」といった声かけから始め、「どこが分かった?」「どこで迷った?」と話を広げることで、自然な振り返りの習慣づくりを支援していただければと考えています。

4 学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全く しない
小	全 国	6.4	8.8	15.9	22.1	17.4	29.2
6	みさか小	6.9	5.2	24.1	27.6	17.2	19.0

(単位 %)

【考 察】

- 朝読書や読み聞かせ、読書週間の取組を通じて読書習慣の定着を図りましたが、メディア利用の増加により読書時間が減る傾向も見られます。約6割の児童が1日30分以上読書しており県・全国よりやや高い水準です。
- 今後は読書感想の交流やおすすめ本の紹介を充実させ、「読むことの楽しさ」を実感できる活動を広げていきます。ご家庭でもメディア時間を調整しながら、親子で読書の時間を意識的につくるなどご協力をお願いします。